

外部評価対象事業個別シート

事務事業名	駅周辺整備事業	担当課	道路河川課
-------	---------	-----	-------

事業の概要		・駅周辺地区の魅力づくり、にぎわい空間の創出のため、平成27年度に策定された「三好ヶ丘駅周辺魅力づくり方針」に基づき駅前広場及び駅周辺の幹線道路の再整備を行う。	平成28年度	取組内容	・平成26・27年度に実施された「三好ヶ丘駅周辺魅力づくり会議」で決定された「三好ヶ丘駅周辺魅力づくり方針」の内容を基に、三好ヶ丘駅前広場及び三好丘駅前線の再整備に係る基本構想作成及び測量を実施した。		
				予算額	7,700千円		
事業の必要性	実施の必要性 (廃止した場合の市民への影響)	・少子化・高齢化が進む社会において、活力ある地域社会を形成するまちづくりの拠点となっている。 ・廃止した場合は、駅へのアクセス改善や駅前広場の安全性・利便性の向上が求められているが、施設の機能向上が図れなくなる。 また、農ライフ空間とあわせた駅前通りの賑わい空間の創出ができなくなる。		執行内訳	科目	金額(千円)	内 容
		委託料			7,700	三好ヶ丘駅前広場、三好丘駅前線等整備基本構想策定業務	
行政が関与する妥当性		・利便性の高い交通結節点機能や暮らしを支える生活機能の整備・充実は行政の義務である。 ・また、駅前広場の管理者がみよし市であるため、その駅前広場を行政が再整備することは妥当である。	今後の事業費の見込み	・今後事業実施となるため、平成32年度までに255,000千円の執行を見込んでいる。			
市民ニーズ		・利用しやすい、訪れやすい交通結節点の形成が必要とされており、安全性・利便性を兼ね備えた歩行空間・駐輪空間の確保や、駅前通りの賑わいや自然を感じられる空間作りも求められている。	過去(3年)に行った見直し	・本事務事業は平成28年度が当初年度となるため見直しは行っていない。			
事業成果		・平成28年度に三好ヶ丘駅前広場及び三好丘駅前線の再整備に係る基本構想案の作成及び測量を実施することにより、再整備方法の検討を行うことができた。 ・平成29年度には実施設計を作成し、平成30年度以降に工事着手し事業成果が望まれる。	現在および将来の課題	・有識者、市民代表等で構成する「三好ヶ丘駅周辺魅力づくり会議」により提出された整備方針を基に基本構想を作成したが、地元行政区の意見が相反するものもあり、市民ニーズを的確に捉えることが困難である。			
近隣市町の状況		名鉄豊田線における近隣市の駅及び駅周辺の整備を区画整理事業により行っている。 日進市:米野木駅周辺において平成7年度から平成29年度の事業期間で区画整理が行われている。 豊田市:浄水駅周辺において平成5年度から平成34年度の事業期間で区画整理が行われている。また、豊田市駅前通り市街地再開発として、街並みの再整備に合わせた駅前広場の再整備を行い、中心市街地の活性化と交通環境、都市防災機能の整備を一体的に行っている。	今後の方向性	・平成29年度事業において、駅前広場等基本設計及び実施設計業務委託を実施しており市民ニーズに近づけた設計を行う。 ・平成32年度までに駅前広場等の再整備を実施する。			